

議題 2（委員会決裁事項（規則第 3 条第 1 号））

大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」の導入について

標記について、別紙のとおり決定する。

令和 4 年 12 月 23 日

大阪府教育委員会

大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」について

1 概要

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領（以下「新学習指導要領」という。）及び各府立中学校の教育理念を踏まえ、令和6年度大阪府立中学校入学者選抜より、府立水都国際中学校及び府立富田林中学校の適性検査に「英語」を導入する。英語の適性検査は、新学習指導要領に示される「外国語」の目標及び内容等に留意し「リスニング」により実施する。

2 その他

令和5年度に適性検査「英語」に係る試作問題を公表する。

〔参考〕

1 各府立中学校の教育目標等

(1) 府立咲くやこの花中学校

ものづくり、スポーツ、言語、芸術など、早くから興味・関心の現れやすい分野の才能を伸ばすことを目標とする。

(2) 府立水都国際中学校

地球的な視野に立ち、地域社会と国際社会の平和と発展に貢献する人を育成することを目標とする。

(3) 府立富田林中学校

地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献できるグローバル・リーダー（Global & Local）の育成を目標とする。

2 小学校における英語教育について

(1) 経緯

平成20年に小学校学習指導要領が改訂され、5・6年で「外国語活動」が導入された。その後、平成29年に小学校学習指導要領が改訂され、3・4年で「外国語活動」、5・6年で「外国語」が導入された。

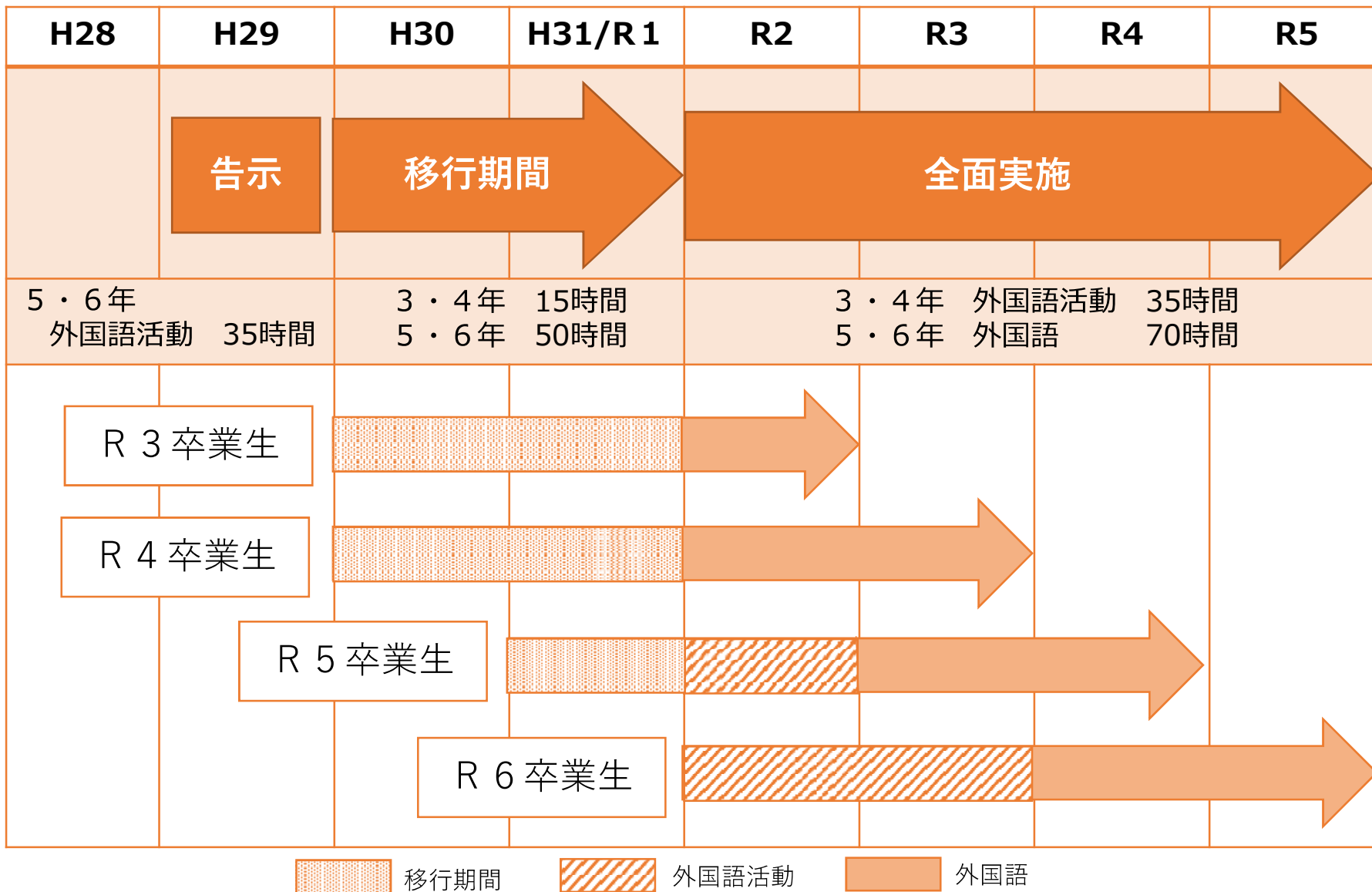
新学習指導要領は令和2年4月より全面実施となり、小学校での英語教育（3年から6年まで）をすべて学習した児童は、令和6年3月に卒業を迎える。

(2) 新学習指導要領における「外国語」の目標（抜粋）

- 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」について〔参考〕

1. 新小学校学習指導要領に係る国の動きについて



大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」について〔参考〕

2. 府内公立小学校における英語教育について

府内公立小学校においては、様々な教材や専門人材を活用しながら、児童に対し、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための授業を行っている。

- 文部科学省が作成した学習支援コンテンツの活用
「Let's Try!」（3・4年生）
 - ・テキストを全国の小学校に配付
 - ・音声はウェブページからダウンロードが可

- デジタル教科書の活用
 - ・令和4年度より全国の小学校（5・6年生）で学習者用デジタル教科書を導入
 - ・一人一台端末等を活用し、英語の音声を聞くことが可能

- 英語教育における評価
 - ・話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕等を評価するためのパフォーマンステスト等の実施
 - ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価

- ALT（外国語指導助手）の活用
府内すべての市町村にALTが配置され、月1～2回以上授業に入っている

3. 大阪府における英語指導力向上等に向けた取組み

大阪府においては、小学校段階から英語4技能（聞く・読む・話す・書く）を身につけることができるよう、小学校英語学習プログラムの開発や教員の英語指導力向上に向けた取組みを実施。

- 小学校英語教育実践リーダー研修（平成30年～令和2年）
 - ・府域全小学校に1人英語実践リーダーを育成するため、小学校外国語教育の授業づくり（指導のポイントや評価のあり方等）に係る研修を実施
 - ・リーダー教員は各学校・市町村で研修内容を共有し、各学校の外国語教育に活用
- CAN-DOリストの作成
 - ・「聞く・読む・話す〔やり取り〕・話す〔発表〕・書く」について、英語を使って何ができるようになるのかななどを、学年や学習段階ごとに整理
 - ・各単元や学期ごとに、子どもたちの学習の到達状況を確認する
 - ・児童生徒用のCAN-DOリストを作成・配付し、子どもたちと目標を共有するとともに、子どもたちが自分で達成状況を確認できるようにする
- DREAM（大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム）の普及（平成28年）
 - ・小学校1年より、児童の発達段階を踏まえ、段階的に4技能（聞く・話す・読む・書く）を育成していくプログラム
 - ・教員用の手引書として「学びのガイドライン」や「シナリオ案」を作成
市町村の小学校教員等を対象に支援研修を実施

令和5年度大阪府立中学校入学者選抜に係るアドミッションポリシー（求める生徒像）について

府立咲くやこの花中学校

本校は、併設する高等学校と連携し、早くから興味・関心の現れやすい4つの分野（ものづくり〈理工〉、スポーツ、言語、芸術〈美術・デザイン〉）の才能を6年間の計画的・継続的な一貫教育で伸ばし、大阪の発展をになう将来のスペシャリストを育成することを目標としています。目的意識が高く、多様な個性を認め合い、尊重できる生徒を歓迎します。

- 1) 日々の学習に根気強く取り組める生徒
- 2) 各分野の学習内容に強い興味・関心があり、意欲的に学ぶ意志のある生徒
- 3) 各分野の学習だけでなく、すべての教科を幅広く学ぶ意欲のある生徒
- 4) 自主・自律の精神を重んじ、自ら学びに向かう姿勢のある生徒
- 5) 様々な夢や希望を持った仲間と協力し、課題解決に取り組める生徒

府立水都国際中学校

本校は、グローバル化が進む中で、国際理解教育と外国語教育に重点を置きつつ、心、知性、身体のバランスの取れた全人教育を理念の核とする学校です。主体性と寛容性、多様な人を尊重し思いやる豊かな心、探究心、深い思考力、幅広く高い知性を養い、異なる人々と共によりよく生きる力を育みます。地球的な視野に立ち、地域社会と国際社会の平和と発展に貢献する人を育成することを目標とし、そのために次のような生徒を求めます。

- 1) 将来、国際的な舞台で英語を駆使して活躍することを目標とし、達成のために学業に主体的かつ意欲的に取り組む生徒
- 2) 知的好奇心が旺盛であり、論理的な思考力、考察力を有する生徒
- 3) 世界に目を向けると同時に、自国および地元大阪の文化と伝統、経済発展、地域活性化等に関心を持つ生徒
- 4) 学校行事やボランティア活動等に積極的に参画し、意見や価値観の違う人とも尊重し合い協働できるよう努力する生徒
- 5) 自分自身と他者を大切にし、国際人としてのルールとマナーを身につけ自己管理できる生徒
- 6) 水都国際高等学校に進学し、グローバル探究科（グローバルコミュニケーションコース、グローバルサイエンスコース、国際バカロレアコース）において専門性を深めることを希望する生徒

府立富田林中学校

本校は富田林高等学校と共に『地球の視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献できるグローバル・リーダー（Global & Local）の育成』という大きな目標をもって「未来に挑戦」していきます。具体的には、「グローバルな視野とコミュニケーション力」、「論理的思考と課題発見・解決能力」、「社会貢献意識と地域愛」という3つの資質・能力の基礎となる力を育みます。

本校の特色を理解し、以下のような夢の実現のために努力を惜しまない生徒を望みます。

- 1) バランスのとれた基礎基本の学力を持ち、多方面の分野に興味関心を示し、学業だけでなく学校行事や部活動などにも積極性を持った生徒
- 2) 将来の進路実現に向けて、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒
- 3) 最新の科学技術に大きな関心を持ち、その習得に意欲的に取り組むとともに、将来、その分野の発展に貢献しようとする意欲のある生徒
- 4) 英語によるコミュニケーション能力の向上に努め、身につけた語学力を生かして、将来、国際社会において活躍しようとする意欲のある生徒